

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：たまりば

公表日：令和8年1月10日

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	5			十分なスペースはあるが、必要に応じレイアウトの見直しや環境設定をしている。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			病欠等やむを得ないとき以外は問題はない。各自体調管理には日頃より気を付けている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	5			トイレに手すりを設置してあり、姿勢保持が難しい児童も安心して利用できるように配慮している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		当日不在の職員には後日申し送りを行っている。
	5 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			毎年アンケートを実施し、保護者からの意見や希望など把握する機会を設けている。回答内容は職員全体で確認し業務改善に反映している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			5	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	5			
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			保護者への聞き取りや日々の様子から必要な情報を集め、ニーズや課題を整理した上で計画を作成できている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			いろいろな視点で意見を出し合って参加しやすい活動になるよう工夫している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			事前にプログラムを立てつつも、子どもたちのその日の様子や興味に応じて活動内容を変更したり、集中が続かない場合は短時間の活動に切り替えるなど臨機応変に対応している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	3	2		平日、休日、長期休暇と同じ内容になりがちなので活動に使える時間に応じて課題内容を考えていきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5			毎日ミーティングを行っており活動内容と利用者への対応を確認している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			送迎終了後に振り返りの時間を設けている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		5		個別課題用の記録用紙の準備はあるが、未記入であったり雑な記入になってしまことがある為、きちんと記入するよう意識をしていただきたい。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	5			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	5				

関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。		1	4	該当なし
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		必要があれば連絡を取り、子どもの特性や支援方法などの聞き取り今後の支援に反映していきたい。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1		4	必要があれば連携していきたい。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		2	3	外出先で会うことはあるが、交流や活動する機会はない。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。		1	4	必要があれば取り組んでいきたい。
保護者への説明等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			契約時に行っており、専門用語などは分かりやすい言葉を用いるなど保護者が理解しやすいようにしている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			保護者が相談しやすいよう、送迎時や面談時に気軽に声を掛けられる雰囲気作りを心掛けるようにしている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	4	1		保護者会を定期的に開催し、子育ての悩みや情報交換ができるようにしていきたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			保護者からの苦情には丁寧に耳を傾け、感情面を受け止める姿勢を大切にしている。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			会報の発行はしていないが希望があれば考えていきたい。
	35 個人情報に十分注意しているか。	5			
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			できるだけ短く、具体的な言葉で説明し、必要に応じてゆっくり伝えるなど伝わりやすい声掛けを心掛けている。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		1	4	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	4	1		
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			年2回の防災訓練の実施。 毎月の活動予定に防災学習の日を組み込むようにしている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			現在身体拘束を行う子はいないが、身体拘束が必要と判断される場合には、必ず理由や方法などを保護者へ十分に説明し、了解を得たうえで計画に明記するようにする。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		医師の指示書が必要な子はいない。食物アレルギーのある子はいるが、保護者より内容の聞き取りは行っている。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	5			毎月必ず行っており作成するだけではなく、振り返りも行っている。